

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名【新】看護学生修学資金貸付事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 看護係 電話番号：058-272-1111(内3275)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 72,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	72,000	0	0	0	0	0	0	0	72,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和4年衛生行政報告例によると、岐阜県内の看護職員は令和2年から減少している。また、県内看護師養成所等の県内就業率及び定員充足率は3年間で減少していることから、県内に就職する看護師の確保(新規養成・離職防止)が課題である。

(2) 事業内容

県内に看護職員として就業する意思のある学生に対し、修学資金の貸し付けを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

本事業は、県内就職を要件としていることから、近年減少する県内の看護師確保に大きく寄与する事業である。他県の事例から県が実施する事例が多く、県内に就業する看護職員を養成するために実施することから県が費用を負担する事が妥当である。

(4) 類似事業の有無

- ・岐阜県医学生修学資金貸付金
- ・清流の国ぎふ大学生等奨学金

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
貸付金	72,000	県内に看護職員として就業する学生へ修学資金を貸し付ける。
合計	72,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第8次岐阜県保健医療計画
- ・看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針

(2) 国・他県の状況

国は、看護師確保指針において、看護学生に対する修学資金の貸与について記載している。また、隣県では41/47県が修学資金貸与事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

学生のニーズ等を踏まえ、随時検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県全体の看護職員確保に寄与する事業のため、県が負担するのは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

看護学生に修学資金を貸し付け、県内勤務を義務付けることにより、県内看護職員の確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①看護学生の県内 就業率	59.8%			60.0%	66.0%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由
や期待する効果 など